



2021年10月15日

各位

会社名 株式会社インティメート・マージャー  
代表者名 代表取締役 築島 亮次  
(コード番号：7072 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 久田 康平  
(電話番号：03-5114-6051)

**2021年9月期連結業績予想および個別業績予想の修正  
ならびに特別損失の計上に関するお知らせ**

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2020年11月13日付「2020年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました2021年9月期通期の連結業績予想および個別業績予想(以下、「前回予想」といいます。)を、下記の通りに修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、2021年9月期(2020年10月1日～2021年9月30日)におきまして、下記の通り特別損失を計上することとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2021年9月期 通期連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	2,307	76	32	8	円 銭 2.92
今回修正予想 (B)	2,017	51	39	29	9.72
増減額 (B-A)	△290	△24	7	21	-
増減率 (%)	△12.6	△32.3	23.2	261.8	-
(ご参考) 前期実績 (2020年9月期)	2,042	57	36	20	7.13

## 2. 2021年9月期 通期個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,303	79	53	円 銭 19.06
今回修正予想 (B)	2,022	62	27	9.07
増減額 (B-A)	△280	△16	△25	-
増減率 (%)	△12.2	△20.8	△48.2	-
(ご参考) 前期実績 (2020年9月期)	2,042	52	36	12.91

## 3. 業績予想修正の理由

### (1) 通期個別業績予想修正の理由

当社は、2020年11月13日に公表いたしました2021年9月期の通期業績予想において、2020年5月に緊急事態宣言が解除された後の、国内広告需要の緩やかな回復傾向等を踏まえて、当社の主要領域であるインターネット広告における売上も徐々に持ち直しを見せるものと想定しておりました。

しかしながら、その後の度重なる緊急事態宣言の発令や自粛要請により、国内経済活動の停滞が長期化し、一部大口クライアントの広告費抑制の影響が継続したことで、マーケティング支援売上におけるアカウント数は前回予想比8.6%減少、単価は同12.9%減少することとなりました。

成果報酬型ディスプレイ広告運用サービス「Performance DMP」については、巣ごもり需要やECサイトの利用増加を踏まえた新たな業種のアカウント獲得が進捗しており、アカウント数が前回予想比17.6%増加と順調に伸ばしましたが、単価は同29.1%減少しました。

データマネジメント・アナリティクス売上については、アカウント数は減少したものの、概ね前回予想通りの売上高となりました。

Select DMPについては、アカウント数が前回予想比33.2%減少しましたが、サイト来訪企業のアクセス状況の分析や広告配信まで一貫したクロスセルを推進することで単価が同21.1%増加することとなりました。

これらの結果、今回修正予想における売上高につきましては、前回予想に対して280百万円減少し2,022百万円（前回予想比12.2%減）となることを見込んでおります。

費用面においては、オンラインとオフラインを組み合わせた効率的な働き方を実施したことで、交通費や会議費等は前回予想比で減少した一方で、ポスト Cookie ソリューションを中心とする翌期以降の営業体制の拡充に向けた投資を実施したため、販売費及び一般管理費合計では、前回予想比11.5%減少しました。しかしながら、売上減少による売上総利益の乖離をカバーすることができず、経常利益につきましても前回予想を下回る見込みとなりました。

また、後述の通り、当社が保有するPriv Tech株式会社（以下、「Priv Tech」という。）の投資有

価証券の評価損を特別損失に計上したことで、当期純利益につきましては、前回予想から 48.2%減少する見込みとなりました。

## (2) 通期連結業績予想の修正理由

通期連結業績予想については、前述の個別業績予想の修正理由に加え、2021年3月31日まで当社の持分法適用関連会社でありました Priv Tech の保有株式の一部を譲渡したことで、持分法による投資損失が前回予想と比較して縮小いたしました。また、2021年5月14日付「(開示事項の経過) 特別利益(関係会社株式売却益)の計上額の確定に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、関係会社株式売却益 19,748 千円の特別利益を計上しております。

これらの結果、連結売上高、連結営業利益につきましては、前回予想を下回る見込みとなりましたが、連結経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回予想を上回る見込みです。

## 4. 特別損失の計上

当社が保有する Priv Tech の投資有価証券の時価が著しく下落し、その回復があると認められないと判断したため、2021年9月期第4四半期連結会計期間において、投資有価証券評価損 14,900 千円を特別損失として計上することといたしました。

(注)本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上